

編集・発行
町田市男女平等推進センター
運営委員会
町田市原町田4-9-8
町田市民フォーラム3階
Tel. 042-723-2908

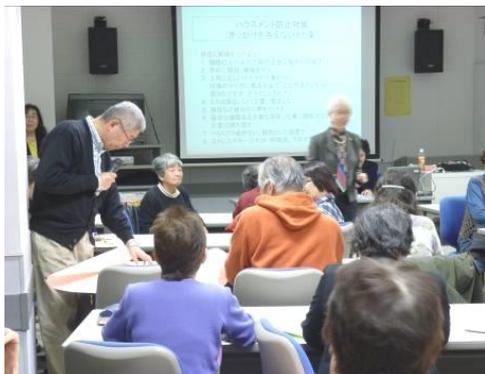


パワーハラスメント（職場など組織の中のいじめ、いやがらせ）の現状と対策

パワーハラスメントとは、最悪の場合、被害者を死に追いやる人道上許されない「いじめ」です。男女平等推進センター運営委員会では11月17日、登録団体の研修として「パワーハラスメント防止講座」を開催しました。講師の田中正子さん（NPO法人キヤスナ代表）の講義の一部をお伝えします。

パワーハラスメントとは

パワーハラスメントとは、役職などの上位、優位な人が、その地位や職権、立場を利用して不当な要求や嫌がらせ（いじめ）をすることです。昨年度の日本の自殺者は3万人余で動機の第4位が「勤務問題」となっています。性別では男性が圧倒的に多く、背景には「男らしさ」という性別役割意識があることも指摘されています。



活発な意見交換やグループ発表

講義の中で取り上げられた一事例

K市の職員だったAさん（男性）は、配属された課の課長、係長から、「なんであんなやつが来たんだ、断ればよかった」と厄介者扱いされ、性的猥褻な言葉を浴びせられ（男性から男性へのセクハラ）、体型を嘲笑され、果物ナイフで脅すようなからかいを受けるなど執拗ないじめを受けました。人事課長に訴えましたが、同課長は事実を積極的に調査せず放置。そのためAさんは心因反応を生じ、上司へのうらみを記した遺書を残して自殺しました。両親はK市に対し損害賠償を求め、裁判では、いじめと自殺の因果関係が認められ、K市は安全配慮義務を怠ったとして1063万円の賠償を命じられました。（2003年）

防止するには

こうした悲劇を防止するためには

事業主がパワーハラスメントを労務管理上の「危機管理」と位置づけ、ガイドライン等を作成し、管理職の教育、従業員研修を行うことが必要です。また被害を受けたら一人で悩まず、まず職場の上司や相談窓口にご相談すると、場合によっては各地域に設けられている厚生労働省の労働相談コーナーを利用してほしいとのことでした。

予告 2012年2月4日(土)5日(日) 町田市民フォーラム 第12回 まちだ男女平等フェスティバル

- 2/3(金) 15:00 3階ホール 映画「六ヶ所村ラブソディー」鎌仲ひとみ
- 2/4(土) 9:45 3階ホール <メイン企画> 監督作品
「いま私たちの手に 未来の選択権がある」鎌仲ひとみさん 映像作家
- 13:00 3階ホール「戦争の中の女性を考える」大森典子さん
- 13:30 4階第2学習室「私だけのキャリアのつくりかた」石崎裕子さん
- 14:00 4階第1学習室「つくろう！男女平等推進条例を」伊藤めぐみさん
- 2/5(日)
- 10:00 3階ホール「平安貴族女性の婚活?!」彦由三枝子さん
- 11:00 3階活動室「高齢期の住まい方」小柴誠さん
- 13:00 3階視聴覚室「アルコールとの付き合い方～悩みごと相談～」
- 14:00 3階和室「おはなし会～物語の中の女と男～」まちだ語り手の会
- 14:00 3階活動室「ストレスと上手につき合おう」柴田悦子さん

参加申し込み方法など、詳しくは1月11日発行「男女平等推進センターだより」をご覧ください

登録団体企画講座 10月12日実施
「女人禁制の歴史は今…」
 ～現代にも残る
 「なぜ、ダメなの？」をひもとく～
 講師：彦由三枝子さん（政治経済史学会会長）
 （参加者 116名）

宮中や社寺の聖域、山岳修行の行場など女性の立入りを恒常的に禁止する女人禁制について、宗教や慣習、風俗、習慣等の背景を踏まえて解説していただきました。



開催された講座から

登録団体企画講座 10月23日実施
**「女性のためのアサーティブ
 ～さわやかコミュニケーション～」**
 講師：坂本 照子さん （参加者 20名）
 （ウィメンズ・サポートオフィス連代表理事）

「コミュニケーションが苦手と感じていますが前向きな気持ちになれました」「コミュニケーションも訓練することで伝わるようになるのかなと思いました。日常生活の中で生かしていきたい。」終了後、こんな感想が寄せられました。自分らしく、自信をもって生きることを考える“きっかけ”になったのではないのでしょうか。

音シネマでトーク

センター所蔵の映画を 大きなスクリーンで観て、感想などを話し合しましょう。無料です。

*** 12月13日(火) 14:00～**
「明日の記憶」

05年(日本)122分
 若年性アルツハイマーの夫と、ともに乗り越えようとする妻との情愛を渡辺謙と樋口可南子が好演。

*** 1月10日(火) 14:00～**
「女はみんな生きている」

02年(フランス)108分
 組織に追われる娼婦と普通の主婦が、とんでもない復讐劇を巻き起こす痛快サスペンス。

*** 2月14日(火) 14:00～**
「終着駅 トルストイ最後の旅」

09年(独・ロシア)112分
 ロシアの文豪トルストイと妻ソフィアの長年に渡る愛と葛藤の物語。没後百年を経て明かされる感動の実話。

上映場所：町田市民フォーラム
 活動室（3F）

新刊書紹介

図書の貸し出しやDVD・ビデオの視聴ができます！

「働くオナナの処世術」

深澤 真紀 日経BPP社

あえて、「輝かない、がんばらない、話を聞かない」ことを勧めています。向上心や前向きに生きることが大事だけど、生きていけば理不尽なことも山のようにある。これをどう受け止めるかで心の平和度が違ってくる。がんばれる時はがんばって、普段は無駄にがんばり過ぎないことが長持ちの秘訣。時には心に耳栓をしたり、上手にふてくされたり、小さく逃げることで大切な解決法だと言う著者の言葉にスツと心が軽くなります。

「これでスッキリ！子育ての悩み解決100のメッセージ」

大豆生田 啓友 すばる社

「子どもって、もつと天使みたいなものかと思ってたけど、全く違った！一日中だっこだっこで夜泣きはするし、すぐにイヤッて言うし、夫の帰りは遅いし…」程度の差はあれ、親たちは皆こんなふう悩んでいます。「よくある疑問」に幼児教育の専門家として保育の現場の事例や自身の子育て経験からコメントする形で構成され、親の気持ちに寄り添ったアドバイスには「あせらなくても大丈夫！」というメッセージが聞こえてきます。

「イクメンで行こう」

渥美 由喜 日本経済新聞社

第一線で働く著者自身の育休体験と取材した男性たちの体験をもとにした架空の男性の育休体験記。イクションとはいえず、ありそうな会社での軋轢、夫婦のやりとり、子どもと向き合う喜びと苦労、親戚や公園ママたちの反応…。それらを乗り越えてハッピーにしてしまう様子に引き込まれます。育児はビジネスマンとしてのコミュニケーション能力、マルチ業務遂行力、リスク管理能力を高め、出世につながる！とイクメン予備軍にエールを送る一冊。

「女性悩みごと相談」



☆ 女性のための身近な相談室として受け付けています。一人で悩まないで相談してみませんか。

受付時間…月・火・木・金・土曜日 9:30～16:00
 水(第3水曜日を除く) 13:00～20:00
 (日・祝日、年末年始はお休みです)

電話番号…042-721-4842 (相談専用)

